

4.6 Java 実行環境の設定（オプション）

パッケージソフト（netNACCS 処理方式）にてライセンス申請書作成ソフトを使用する場合には Java のインストール、および設定が必要です。以下の手順（※）にて、Java のインストール、および設定を実施してください。

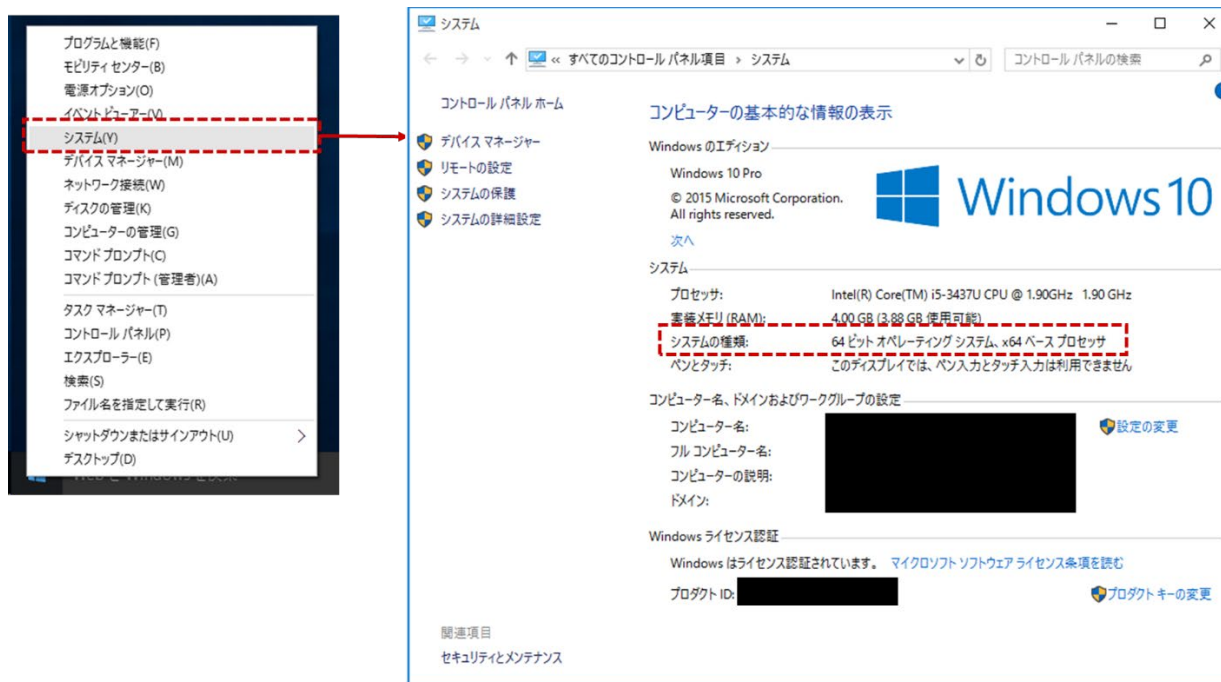
すでに Java をインストール済みの方は「（2）ライセンス申請書作成ソフトを起動する Java の設定」から実施してください。

※ 2019/1/31 時点での手順となります。ダウンロードサイトの URL、および UI が変更となる場合がございますが、ご了承ください。

2019/2/1 より、Oracle Java8 は Oracle 社による無償サポートの対象外となりますので、最新版の OpenJDK へ移行が必要となります。OpenJDK11 以降は 64bit 版 OS（※）でのみ利用可能であるため、32bit 版 OS（※）をご利用の方は、64bit 版 OS へ移行をお願いします。

※ OS の bit 数は [コントロールパネル | システム] の [システムの種類] にて確認できます。

例) Windows10 の場合、スタートメニューを右クリックから [システム] を選択することで OS の bit 数を確認できます。

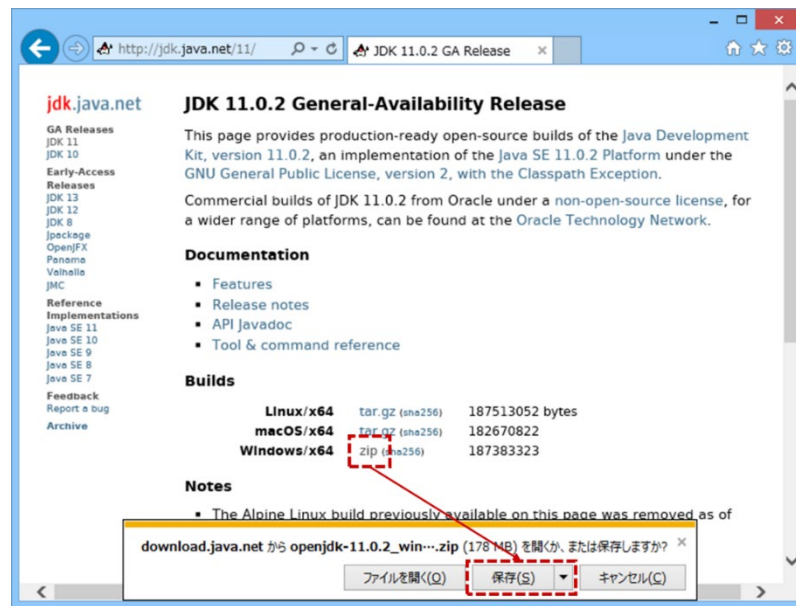


(1) Java (OpenJDK) のダウンロード

1. Web ブラウザにて、「<http://jdk.java.net/>」へアクセスします。
2. NACCS センターより指定された JDK バージョンをクリックします。



3. [Windows/x64] の [zip] をクリックし、zip ファイルをダウンロードします。



4. ダウンロードした zip ファイルを解凍し、任意の場所に Java フォルダを作成し、移動します。

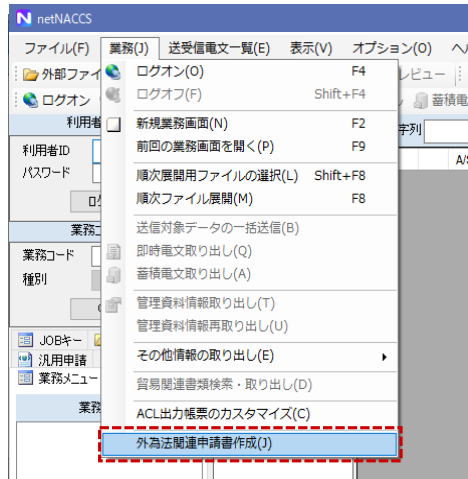
例) C:¥Java



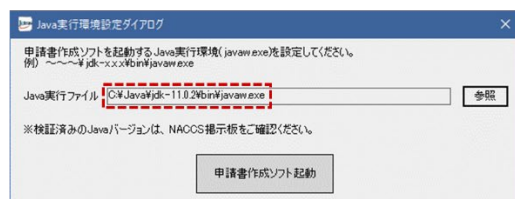
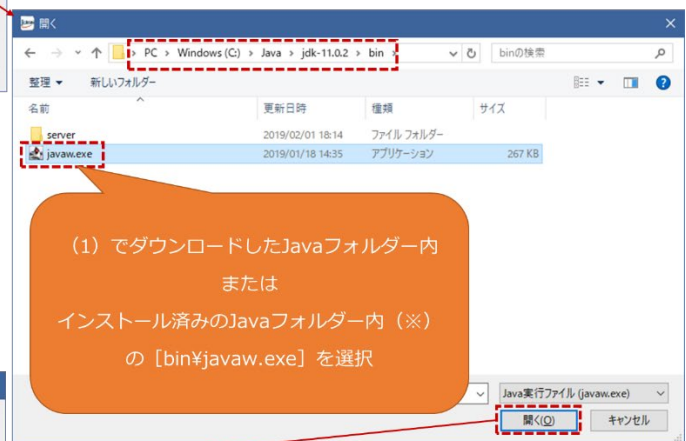
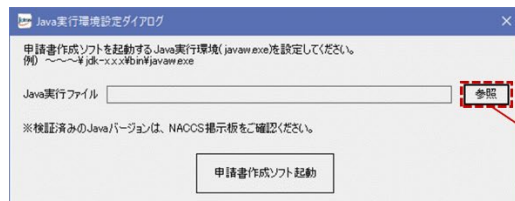
(2) ライセンス申請書作成ソフトを起動する Java の設定

ダウンロードした Java をライセンス申請書作成ソフト起動用 Java として設定します。

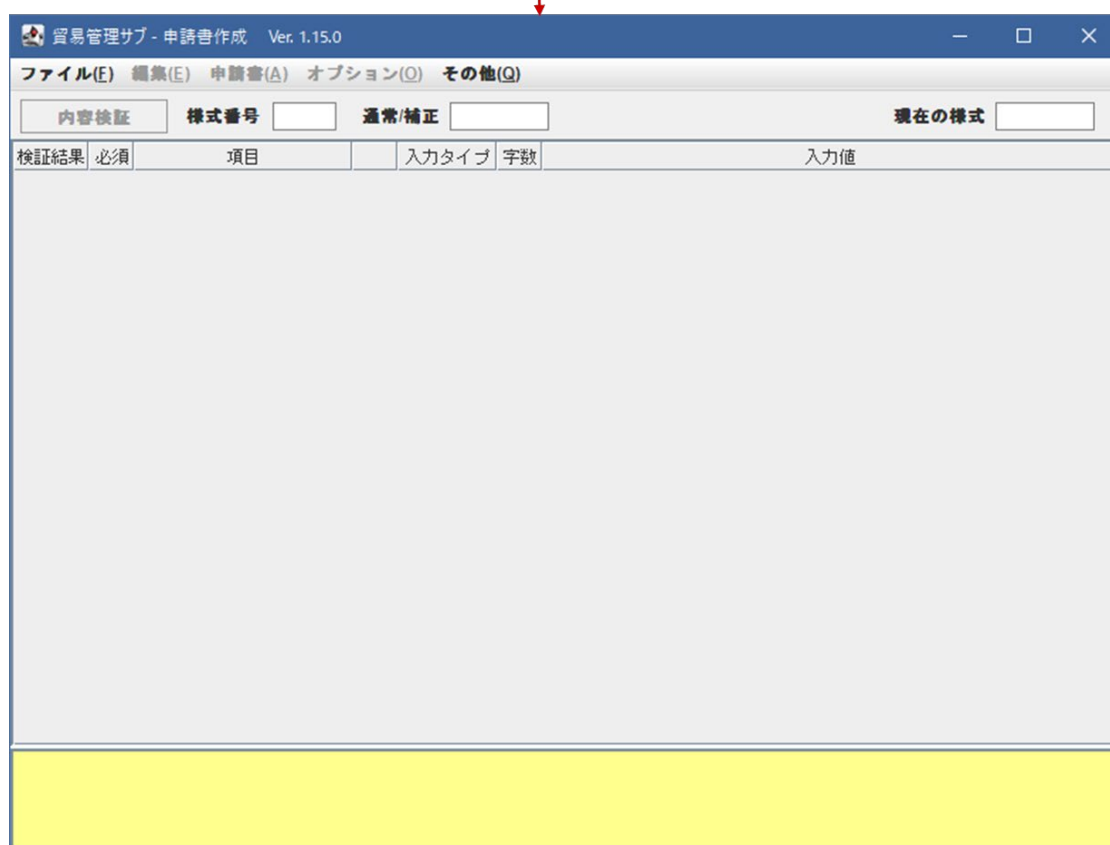
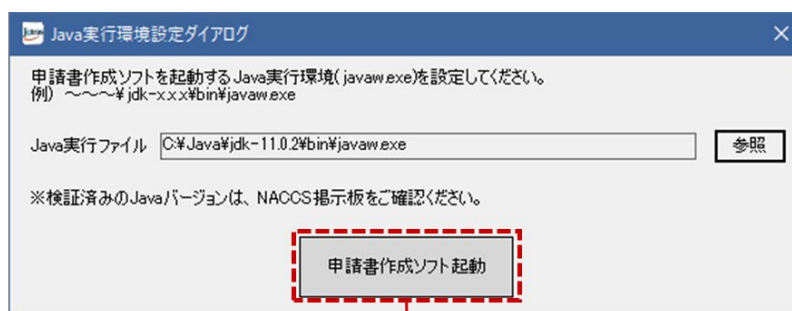
1. パッケージソフトのメインメニュー〔業務 | 外為法関連申請書作成〕を選択します。



2. Java 実行環境設定ダイアログが表示されるため、〔参照〕ボタンより Java 実行ファイルを指定します。



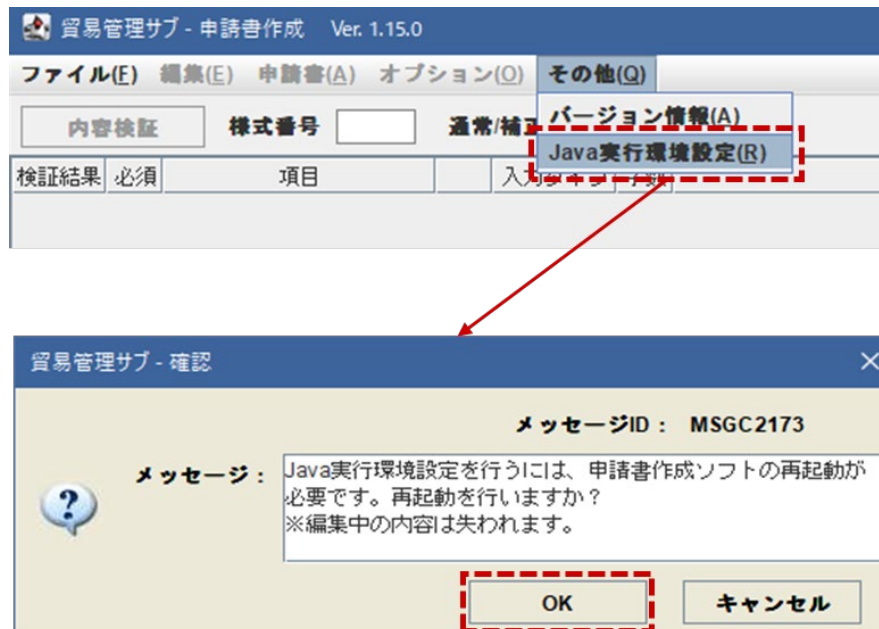
3. 「申請書作成ソフト起動」ボタンをクリックし、ライセンス申請書作成ソフトが起動することを確認します。



(3) Java 実行環境の再設定

Java のアップデートが発生した場合、ライセンス申請書作成ソフトのメニューより Java 実行環境の再設定が可能です。

1. 「(1) Java (OpenJDK) のダウンロード」を参照し、Java ファイルをダウンロードします。
 2. ライセンス申請書作成ソフトの［その他］メニューから［Java 実行環境設定］を選択します。
 3. 再起動確認ダイアログが表示されますので、問題なければ［OK］ボタンをクリックします。
- ※ 編集中のファイルがある場合、内容は失われます。保存してから実行してください。



4. Java 実行環境設定ダイアログが表示されるため、［参照］ボタンより、ダウンロードした Java ファイルを設定し、［申請書作成ソフト起動］ボタンをクリックします。（「(2) ライセンス申請書作成ソフトを起動する Java の設定」を参照）
5. 設定した Java 実行環境にて、「ライセンス申請書作成ソフト」が再起動されます。